

くらしのちえ

●ガラス食器をみがく

普通のガラス(ソーダガラス)と酸化鉛ガラス(クリスタルガラス)は、耐熱ガラスと違って急に熱湯を入れると割れることがあるので注意を。

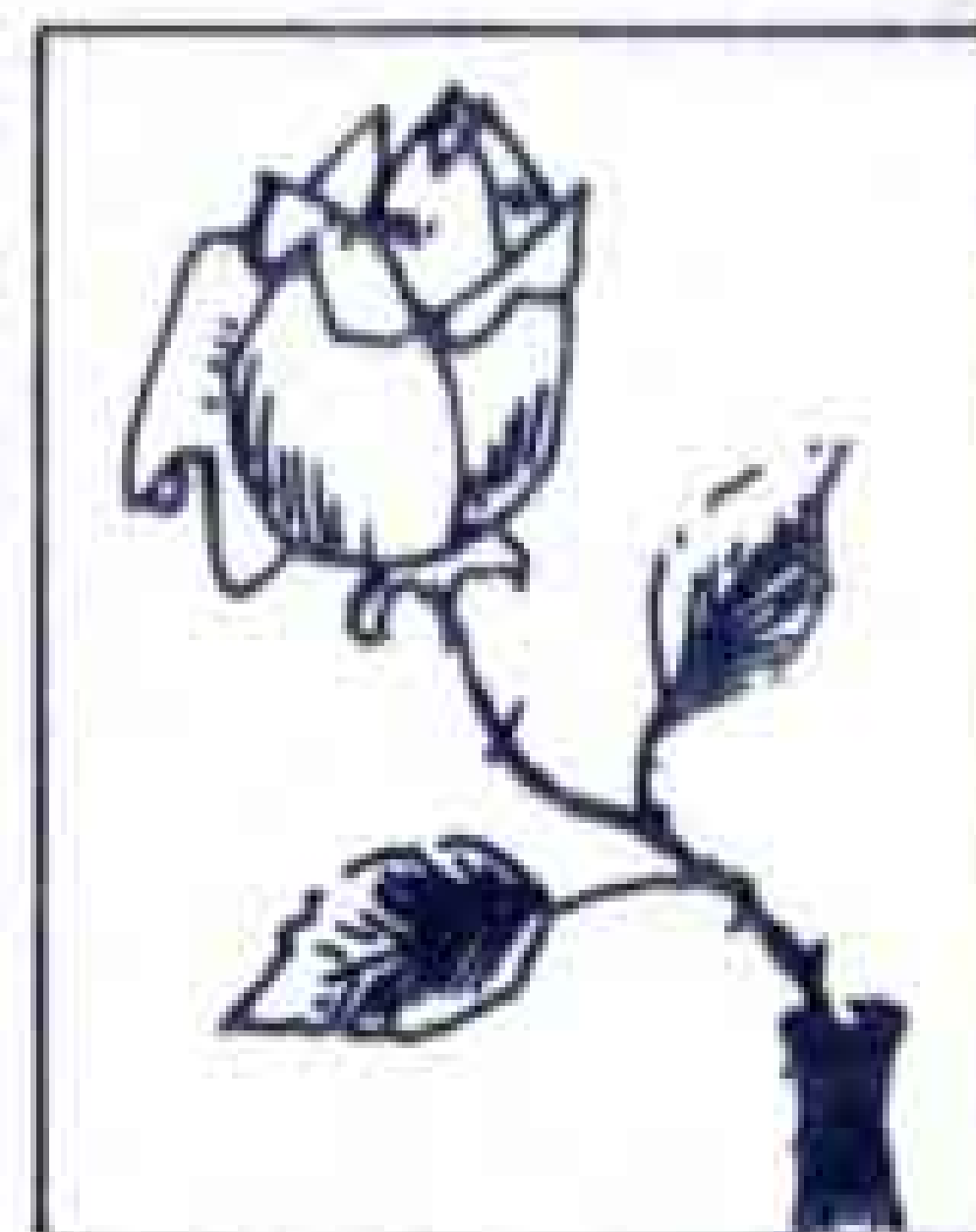
中性洗剤を入れたぬるま湯の中でスポンジか柔らかい布で洗いますが、クリスタルは傷つきやすいので特にていねいに。カットの部分は、豚毛の歯ブラシに酢をつけて洗うときれいになります。ぬるま湯



でよくすすぎ洗いしたら水きりカゴにのせて水分をすっかりきり、使いこんだ柔らかい麻布かケバのつかない乾燥した布でみがき上げてください。そのときワイングラスの細い足はこわれやすいので持たないこと。しまうときは、重ねないこと、重ねた間が真空になってとれにくくなります。

●生け花を長もちさせる

草花を生けるとき切り口をななめに切ると、それだけ面積が広がり水分を多く吸収できるので、



長もちします。この切口に塩をすりこんでおくといっそう効果的、塩には植物の浸透作用を高める働きがあります。

交通量の調査 集計結果まとまる

市の都市整備部都市計画課では、去る7月22日午前7時から午後7時までの12時間にわたって、市内15カ所の路線で交通量の調査を実施しましたが、この集計結果がまとまりました。

交通量の一番多かった路線は、伝法地先の弥生線と日吉町地先の弥生線および平垣地先の富士鷹岡線の3

路線が最も多く、12時間中、乗用自動車など6,472台、貨物自動車など4,577台、自転車885台、歩行者1,023人を数えました。

また一番少なかった路線は、松岡地先の田子浦、鷹岡線と蓼原地先の藤間、前田線で乗用自動車など1365台、貨物自動車など4370台、自転車219台、歩行者111人でした。

アメリカシロヒトリは、5月下旬から9月中旬までの間、だらだらと区切りなく発生します。とくに2回目の6月から9月中旬に被害が多く出ています。アメリカシロヒトリはさ

枝を切り焼却

2回目のアメリカシロヒトリ発生

わってもせんが、した場所見つけたり取り焼さい。ま所で枝がいときは油布をま

かぶれま前に発生には、必ずしますのでら枝を切いてくだた高い場切れな竹ザオにいて巢の

部分を焼いてください。薬剤散布は、DDVP乳剤(70%)とダイプレックス乳剤を、1000倍にうすめて幼虫に直接かけてください。薬は散布すると人畜に害も考えられますので、十分に注意して下さい。

9月の

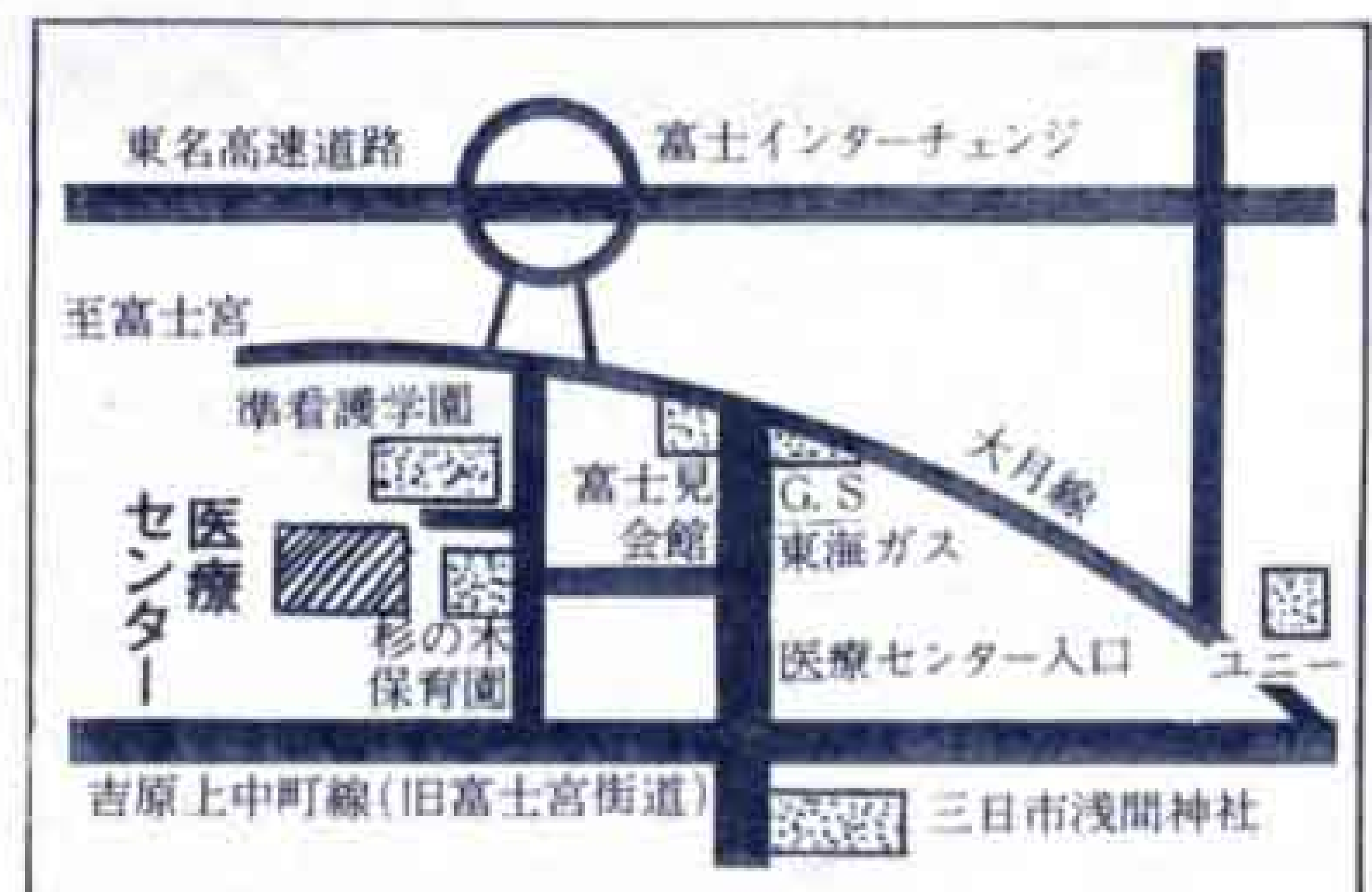


休日当直医院は、富士市医師会が急病者のために定めたものです。ところが、最近、かかりつけの医院がやすみなのでみてくださいと、当直医院に来る人が多くなりました。特に医療センターに多く、急病者の診察に支障をきたしていますので、当直医院は急病のときにだけご利用ください。

- 9月4日
外科 山崎医院(厚原 71-3315)
米山病院(吉原4 52-3060)
産婦人科 池谷医院(水戸島本町 61-0872)

- 9月11日
外科 中央病院(本市場 61-8800)
秋山医院(富士岡 34-0075)
産婦人科 長野医院(柚木 61-1907)
- 9月15日
外科 藤井医院(松岡 61-7811)
芦川病院(中央町2 52-2480)
産婦人科 鈴木医院(今泉1 52-1712)
- 9月18日
外科 戸田医院(横割1 63-5213)
米山医院(今泉1 52-0275)
産婦人科 遠藤医院(吉原3 52-1941)
- 9月23日
外科 川村医院(富士中島 61-4050)
快明堂医院(中央町1 51-0301)
産婦人科 中央病院(本市場61-8800)
- 9月25日
外科 神谷医院(川成島 61-5900)

渡辺病院(錦町1 51-3751)
産婦人科 山下医院(国久保52-0611)
※内科、小児科は富士医師会が「医療センター」で行っています。診療時間は午前9時から午後5時までです。



医療センターの住所は「富士市伝法字杉ノ木2850-2(長者町)」電話は52-3104です。